

琉球大学学術リポジトリ

発刊を祝して (1)

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 平塚, 直秀 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015059

発刊を祝して(1)

私の父はかつて沖縄中学校に働いたことがあるし私もまた琉球大学の招聘教授第一号として沖縄を訪れたのでこの関係は親子二代に亘っている。戦後母国からきり離されて遙か手の届かぬところにあるとは云々精神的つながりまでたち切ることはできない。日本と沖縄の第一次産業面における技術交流は戦前も同様であったが今日ではますますその必要度を増してきたように思われる。思うに物資交流の規模はいよいよ世界的となり自由貿易化の気運が促進されるにつれて交易の相手も全世界と相成ってきたがこのことはつまり世界技術の粋をとり入れる必要が出来たことを物語っている。中でも緊密度の高い日本農業と提携することは沖縄農業の日本進出即世界進出の緒を可能ならしめる要因をなすものと思われる。沖縄農業を特色づけるパインや甘蔗産業などの輸出農産物において然りであるばかりでなく、稲、野菜などの自給作においてもとのこされてはならない。たとえ積極的に輸出できなくても、少なくとも外貨流失の防衛をこれらに求めなくてはならない。いよいよ適地適作主義に傾くのは各国農業の現実であるが、日本圏における唯一の熱帯地域たる沖縄の風土を生かし、これを最大限に利用することは沖縄が生きてゆくためにもまた郷土を通じて日本農業圏に参加するためにも絶体必要なことであり、その時期に来ている。今回沖縄農業研究会が結成され会報発刊の報を聞くことは浅からぬ因縁を持つ私の此上ない悦びである。願はくは前途によこたわるであろう幾多の困難を克服し号を追って躍進されんことを母国の空より切にお祈りする。(5月5日)

東京教育大学教授、日本植物病理学会長、日本菌学会長

農理学博士 平 塚 直 秀